

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 グリーンモンスター株式会社 上場取引所 東
コード番号 157A URL <https://greenmonster.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小川 亮
問合せ先責任者 (役職名) 管理部ゼネラルマネージャー (氏名) 江幡 信隆 (TEL) 03-6304-7647
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	516	57.7	2	—	△13	—	△11	—	△41	—
2025年6月期第1四半期	327	—	△47	—	△51	—	△49	—	△49	—

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 △41百万円(—%) 2025年6月期第1四半期 △49百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△13.30	△12.75
2025年6月期第1四半期	△15.58	△14.60

(注) 当社は2024年6月期第1四半期について四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,803	1,359	75.3
2025年6月期	1,821	1,430	78.5

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 1,359百万円 2025年6月期 1,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	2,617	30.4	152	△12.0	102	△17.3	102	△18.8	15	△53.4
										4.84

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	3,223,300株	2025年6月期	3,214,700株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	81,900株	2025年6月期	81,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	3,138,596株	2025年6月期1Q	3,190,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価が最高値を更新し、経済環境については回復基調で推移しました。その経済環境において物価が上昇する一方で、賃金の上昇が伴わないことにより国内の個人消費の改善には至らない状況が続いております。これらの事情を受けて、事業活動を取り巻く環境は不透明な状況が継続しております。

このような事業環境の中、当社グループは、主力事業である体験型投資学習アプリのFX取引体験型学習アプリ「FXなび」、株取引体験型学習アプリ「株たす」、株&積立投資シミュレーションアプリ「トウシカ」の機能改善開発とコンテンツ配信を通じて、新たに投資を始めたい方々の支援をしてまいりました。2024年1月に開始された新NISA制度の定着及び為替市場の変動による投資機会の拡大に対応し、「FXなび」のTVCMのプロモーションを行い、アプリを活用した「スキマ時間に投資の勉強」の訴求や「株たす」の口座開設キャンペーン実施によるマーケティング強化を行ったことにより、アプリのインストール数及び口座開設数の拡大を図ってまいりました。また、連結子会社による資産形成支援事業について、株式会社ファイナンシャルインテリジェンスが運営する投資スクールを体験型投資学習アプリのユーザーに提案することにより顧客の獲得が進み、売上の増加につながりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高516,230千円（前年同期売上高327,449千円）、営業損失13,045千円（前年同期営業損失51,899千円）、経常損失11,382千円（前年同期経常損失49,631千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は41,756千円（前年同期純損失49,696千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,803,994千円となり、前連結会計年度末に比べ17,546千円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が29,564千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は444,517千円となり、前連結会計年度末に比べ53,947千円増加いたしました。これは主に、契約負債が33,510千円増加、賞与引当金が9,812千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,359,476千円となり、前連結会計年度末に比べ71,493千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上41,756千円、配当金の支払い31,328千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「特別損失の計上および2026年6月期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,185,144	1,206,508
売掛金	204,201	207,928
その他	76,698	65,162
貸倒引当金	△2,262	△2,262
流動資産合計	1,463,780	1,477,337
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,857	29,057
減価償却累計額	△2,021	△2,505
建物（純額）	25,835	26,551
工具、器具及び備品	21,840	23,065
減価償却累計額	△9,754	△11,052
工具、器具及び備品（純額）	12,086	12,012
有形固定資産合計	37,921	38,564
無形固定資産		
のれん	227,042	203,942
ソフトウェア	26,889	20,424
無形固定資産合計	253,932	224,367
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	33,662	33,870
その他	32,243	29,855
投資その他の資産合計	65,906	63,725
固定資産合計	357,760	326,657
資産合計	1,821,541	1,803,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,715	92,194
1年内返済予定の長期借入金	10,008	10,008
未払金	113,314	117,022
未払法人税等	4,876	—
未払消費税等	7,301	17,640
賞与引当金	—	9,812
契約負債	61,447	94,957
その他	26,171	26,441
流動負債合計	311,835	368,076
固定負債		
長期借入金	40,786	38,284
役員退職慰労引当金	31,752	31,752
繰延税金負債	6,197	6,404
固定負債合計	78,735	76,441
負債合計	390,570	444,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,184	34,980
資本剰余金	539,734	540,530
利益剰余金	903,445	830,360
自己株式	△46,574	△46,574
株主資本合計	1,430,790	1,359,296
新株予約権	180	180
純資産合計	1,430,970	1,359,476
負債純資産合計	1,821,541	1,803,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	327,449	516,230
売上原価	268,882	355,462
売上総利益	58,567	160,767
販売費及び一般管理費	110,466	173,812
営業損失(△)	△51,899	△13,045
営業外収益		
受取利息	148	1,197
雑収入	31	707
為替差益	2,413	—
営業外収益合計	2,593	1,905
営業外費用		
支払利息	325	64
為替差損	—	178
営業外費用合計	325	242
経常損失(△)	△49,631	△11,382
特別損失		
減損損失	—	30,192
特別損失合計	—	30,192
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,631	△41,574
法人税、住民税及び事業税	64	181
四半期純損失(△)	△49,696	△41,756
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,696	△41,756

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△49,696	△41,756
四半期包括利益	△49,696	△41,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,696	△41,756

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、全セグメントに占める「投資学習支援事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,715千円	3,636千円
のれんの償却額	1,889千円	11,318千円

(重要な後発事象)

(連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却)

当社は、連結子会社であるブラックモンスター株式会社(以下、「ブラックモンスター社」という。)の全保有株式を、株式会社フロンティアファーストに譲渡することを2025年10月10日に決議し、株式譲渡契約を締結しました。本件株式譲渡に伴いまして、ブラックモンスター社は当社の連結範囲から除外されます。

(1) 株式譲渡の理由

当社は、2024年10月に外壁塗装業者向け営業支援サービス「カベナビ JAPAN」を事業譲受し、その運営主体として2024年11月に100%子会社であるブラックモンスター社を設立いたしました。

事業譲受後、当社グループとしては経営管理体制の整備やサービス運営体制の強化を進め、ブラックモンスター社は当初計画に沿った事業運営を継続しております。

一方で、当社グループ全体の中長期的な成長戦略および経営資源の最適配分の観点から、当該事業に対して追加的な投資やリソースを投入するよりも、他の重点事業領域に経営資源を集中させることが企業価値の向上につながると判断し、ブラックモンスター社の株式を譲渡することを決定いたしました。

当社グループのコア事業ドメインである金融教育や資産形成およびその周辺・関連分野に対する社会的な関心は一層高まっております。

当社は、資本効率の最大化および経営資源の最適配分の観点から、常に事業ポートフォリオ全体をモニタリングし、最適な経営判断を行う体制を維持しております。

今後は、当該コア事業ドメインに経営資源を重点的に投下する方針をより明確化するとともに、将来を見据えた事業ポートフォリオの最適化に注力することが当社グループにとって最善と判断し、ブラックモンスター社の株式譲渡について検討を重ねてまいりました。

その結果、ブラックモンスター社の事業成長に最適な経営主体として、株式会社フロンティアファーストのもとで事業成長を加速させることが、ブラックモンスター社のさらなる発展につながるとの結論に至りました。これらを踏まえ、当社は保有するブラックモンスター社の全株式を株式会社フロンティアファーストに譲渡することを決定いたしました。

(2) 譲渡する相手先の名称

株式会社フロンティアファースト

(3) 譲渡の時期

2025年10月10日

(4) 当該子会社の概要

① 名称

ブラックモンスター株式会社

② 事業内容

外壁塗装業者向け営業支援サービス

(5) 譲渡する株式の数、譲渡後の持分比率、譲渡価格及び譲渡損益

① 譲渡する株式の数

1,000株

② 譲渡後の持分比率

-%

③ 譲渡価格

1,600,000円

④ 譲渡損益

2026年6月期に17,514千円の特別損失が発生する見込みです。